

項目	意見
1 公から民への施策転換	公から民への施策転換に伴い、業務委託の際には、市民への影響を重視し、目的の共有など委託先とどう関わっていくのか市でよく検討したうえで、任せるという姿勢で押し進めてほしい。
2 定員削減と職員の意識改革	部署ごとの仕事（あるいは職員一人ひとりの担当している仕事）の内容が市の目指すところにどう結びついているのか一目で分かるイメージマップのようなものを示すことができれば、自身の仕事の重要性を理解し、やる気をもって仕事を進めるための一手段になるのではないかと考える。
3 財政の健全化	コスト削減という視点が先行し、予算の枠内でできることだけを行えばいいということにならないよう、市にとって必要なものと必要でないものを明確にし、必要なものに対しては重点的な配分を行いつつ、予算の必要のない地域資源の活用といった創意工夫によって予算配分の効果を高めるような重層的な取り組みが必要ではないかと考える。
4 成果志向の行政経営	限られた資源を活用する目的を明確にして、資源を投下できるよう、行政サービスの提供を受ける市民の生活の質の向上と関連した成果指標をつくり出し、その目標値を設定し、どこまで達成できたのか把握できる体制づくりが望まれる。
5 市民志向と説明責任	市民志向の実現のためには市民双方向型の仕組みが必要になると考えられるが、その前段階として、多くの市民が市政に興味をもつよう、職員の方々が努力している姿がみられ、それが市民の生活環境にどのような変化をもたらしたのか、あるいは将来にもたらすのか、明確なイメージで変化を身近に感じられるような情報の提供（例えば、動画配信）があると良いと考える。（これにも成果指標の設定が必要であると考え）